

短時間型血管機能計測装置

～FMD検査の普及を目指して～

名古屋工業大学 工学研究科 教授 松本健郎、特任助教 宮城英毅、藤田保健衛生大学 医療科学部 講師 矢口俊之
株式会社ユネクス

▶〈関連ページ〉3、4、19、20、21、22ページ

狙い 血管機能不全はあらゆる臓器不全の前兆として起こることが知られており、なかでも血管内皮機能は短時間で変化がみられる指標であり、かつ悪化した際には重大な疾患につながることから、血管内皮機能FMD検査の普及のために本装置の製品化を目指している。名古屋工業大学の基礎試験結果から普及の障害となる課題を解消する手段が得られ、装置として実現することで、より幅広い医療現場で使用できるようにする。

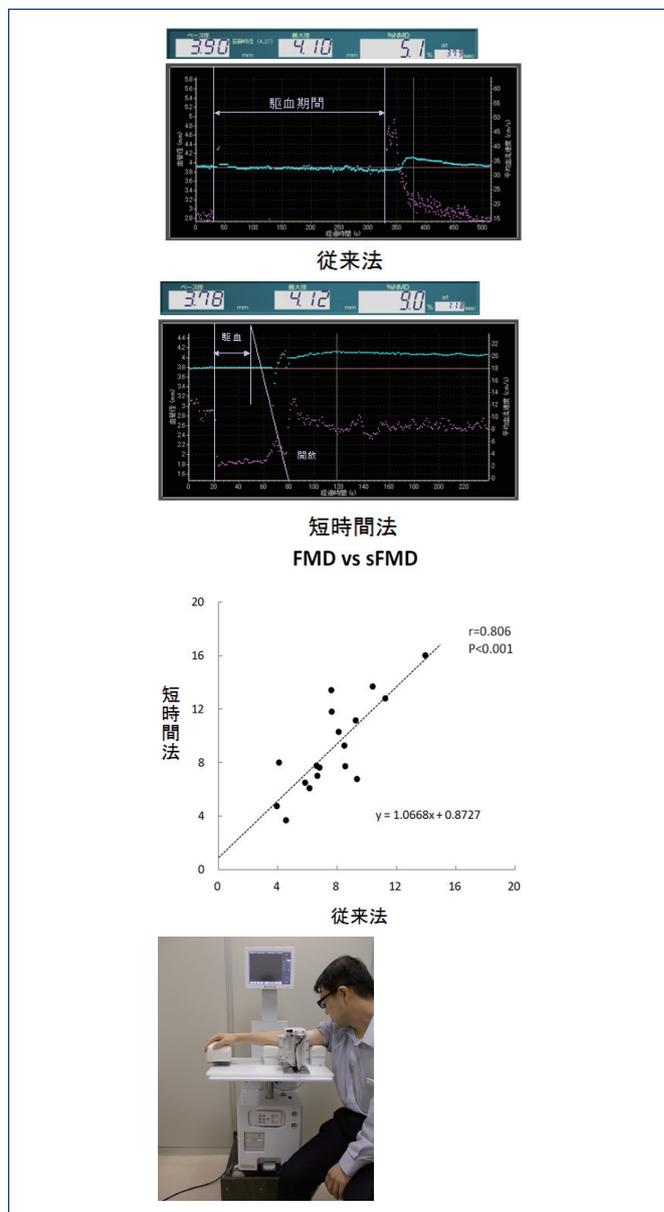
用途 現行FMD検査装置は検査技師が常駐する病院を中心に利用されているが、FMD検査普及のためにはクリニックや健診で使われることが必要である。クリニックでは看護師などに計測してもらう必要があり、多忙な業務をこなしながらの検査としては、短時間であることが望まれる。また健診においては検査時間が2分以内であることが要求される。本装置はそうした要求をクリアしており、クリニックや健診で使われることが期待される。

特長

- FMD検査は上腕動脈に加える血流刺激反応による拡張量を超音波で計測する検査であるが、1) 検査に15分かかり、しかも仰臥位で計測のため診療効率が悪い、2) 検査に一定の技量を必要とし専任操作者が必要、などの点が普及の障害となっている。
- これらの障害解消のため、1) 検査時間2分、座位で計測可能、2) 操作は自動化され、3) 現行FMDと同等の検査結果が得られる装置を開発した。

仕様

外 寸／W:500×H:290×D:1100mm
重 量／32kg
その他／電源：100V、超音波：10MHz、H型プローブ（Bモード、Aモード、フローモード）、表示：10インチ液晶



■お問い合わせ／株式会社ユネクス 代表取締役 益田博之
e-mail : masuda_h@unex.co.jp 電話番号 : 052-229-0820 FAX : 052-229-0823
■特許の有無 : 有